

フロリダ留学定期レポート（8月、9月）

法文学部言語文化学科

田中優希乃

留学生活が早くも残すところ3か月となりました。8月の初めに、ゲインズビルから車で5時間ほど離れた、マイアミとフォートラダデールに行きました。ビーチで有名な地域なのでいくつもビーチがあり、海はとても青く綺麗でした。ビーチに行って泳いだり、ボートライドに行ったり、またショッピングモールに行く



などして夏休み最後を満喫しました。マイアミではアートディストリクトという街中がアートでいっぱいなエリアがあり、とても楽しかったです。マイアミはラテンアメリカに近いので、キューバ料理などヒスパニック系の料理が多くあり、またスペイン語の文化が深く浸透していました。島根大学に3年前に留学しに来ていた二人と再会し、楽しい時間を過ごしました。



8月の中旬から秋学期が始まりました。英語での授業も大分慣れてきたので、今学期はスペイン語の授業に挑戦してみることにしました。フロリダにはスペイン語を話す人が多く、いい機会だと思ったからです。私はスペイン語を全く学んだことがないので初めの頃の授業は本当に苦戦しました。アメリカでは高校で多くの学生がスペイン語を学ぶので、初級ながら授業のレベルは高く感じます。しかし周りの学生に助けってもらったり、予習復習を毎日することで順調に授業を受けることができます。Public Speaking という授業では、スピーチに関して学び、実際にクラス全員の前で3～10分間等のスピーチを何度もします。ネイティブの学生のスピーチを聞くこともでき、自分のスピーキングの練習にもなるのでかなりためになる授業です。上がり症で人前で話すことがなかなか苦手でしたが、この授業でスピーチの原理やコツなどを学び、少しずつ成長できていると思います。

9月はフットボールシーズンで、学校全体はとても盛り上がっています。学生も大人も皆、フロリダ大学のシンボルのオレンジと青色の服を着て応援に行きます。大学のスタジアムはフロリダで一番大きく、約9万人の観客が入るそうです。



試合はほとんど毎週あります。友達と一度行きましたが、かなり盛り上がり楽しかったです。いい経験ができてよかったです。

生活はもうほとんど慣れ、英語も不自由なく使えるようになりました。慣れるには、日本語をほとんど使わず、毎日アメリカ人と英語で話すという習慣を身に着けるとするのが大切だと感じました。毎週日本語のクラスへボランティアに行ったり、Language Room へ行ったりして日本語を学ぶ学生の手助けをしています。日本語や英語を交えて多くの学生と話すことはとても楽しいです。また、今学期も週三日、図書館にあるスターバックスで働いています。バイト仲間と話したり、お客さんと話すことでビジネス英語を使う練習になっていると感じます。あと三か月と時間は少ないですが、後悔のないよう、全力で毎日を過ごしたいと思います。